



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 宗一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理本部長 (氏名)四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,109	△20.3	203	△46.2	205	△51.0	68	△75.6
2020年3月期第1四半期	5,156	4.8	378	31.0	419	26.8	281	25.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △31百万円(ー%) 2020年3月期第1四半期 311百万円(113.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.28	ー
2020年3月期第1四半期	26.12	25.96

(注) 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	22,692	15,513	68.3
2020年3月期	24,252	15,721	64.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,500百万円 2020年3月期 15,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	10.00	ー	15.00	25.00
2021年3月期	ー				
2021年3月期(予想)		5.00	ー	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2020年8月5日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,450	△34.7	136	△86.0	175	△83.4	42	△94.1	3.92
通期	12,392	△43.5	△712	ー	△536	ー	△651	ー	△59.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年8月5日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	11,020,000株	2020年3月期	11,020,000株
2021年3月期1Q	114,745株	2020年3月期	114,745株
2021年3月期1Q	10,905,255株	2020年3月期1Q	10,759,013株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の本格的な流行により、輸出や生産が急速に減少した中、5月には国の緊急事態宣言の解除が行われ、感染拡大の防止策の緩和や社会経済活動レベルの段階的引き上げなどの対策がとられたものの、極めて厳しい景気状況で推移しました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外ともに急速に景気が悪化し、極めて厳しい景気状況が継続したことから、当第1四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比44.8%減少の1,745億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期に比べ10億47百万円(20.3%減)減収の、41億9百万円となりました。売上高の減少に伴い、営業利益は2億3百万円(前年同期比46.2%減)、経常利益は2億5百万円(同51.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円(同75.6%減)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が4億28百万円(前年同期比85.3%減)、受注残高が52億25百万円(同70.6%減)、売上高は35億57百万円(同20.9%減)、営業利益は1億69百万円(同47.0%減)となりました。

受注高は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う先行きの不透明感から設備投資に対する慎重姿勢が強まり、低調に推移しました。地域別内訳は、国内向け、北米向け及びアジア向けが大きく減少した結果、内需が3億5百万円(同81.7%減)、外需が1億23百万円(同90.1%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、新型コロナウイルスの影響で一部ユーザ・地域に対して製品を出荷できなかった状況がほぼ解決したものの、国内向け及びアジア向けが減少した結果、内需が23億17百万円(同16.7%減)、外需が12億39百万円(同27.8%減)、外需比率が34.9%(前年同期は38.2%)となりました。

当第1四半期連結累計期間における主な取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の影響で営業活動が制限され、主要な展示会も中止や延期となったことに対応し、当社製品や技術をアピールするためにICTを活用した営業戦略の推進をはかってきました。オンラインによる加工相談の実施やメールによる定期的な情報提供を行ってきた他、YouTube公式チャンネルを開設し、動画の掲載によって新機種紹介や加工技術紹介を行ってきたことで、顧客との関係維持、受注の確保に努めてきました。また、移動自粛制限解除後には、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ営業活動を付勢させ、ユーザの状況把握や潜在需要の掘り起こしをはかってきました。

生産面では、最適生産の実施に努める中、前期末の受注残高によって生産高は堅調に推移しました。また、品質の向上や更なる生産性の向上にも取り組んできました。

② IT関連製造装置事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が4億48百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益が54百万円(同16.1%減)となりました。

半導体関連やその他の既存取引先からの安定した需要により、売上高は堅調に推移しました。

一方で、製品構成比の影響及び販管費の上昇等により、営業利益は減少しました。

③ 自動車部品加工事業

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1億3百万円(前年同期比50.2%減)、営業損失は21百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、自動車メーカーの生産調整が相次いだ影響から、売上高・営業利益ともに大きく減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は226億92百万円で前連結会計年度末に比べ15億59百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動資産は163億12百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億80百万円減少しました。その主な要因としては、電子記録債権が5億33百万円、たな卸資産が2億93百万円、現金及び預金が2億87百万円、受取手形及び売掛金が1億95百万円減少したことによるものです。

固定資産は63億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億79百万円減少しました。その主な要因としては、投資その他の資産のその他(繰延税金資産等)が1億16百万円減少したことによるものです。

次に当第1四半期連結会計期間末の負債は71億79百万円で前連結会計年度末に比べて13億51百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は57億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億41百万円減少しました。その主な要因としては、流動負債のその他(未払費用等)が1億83百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が6億31百万円、電子記録債務が3億89百万円、未払法人税等が2億53百万円、賞与引当金が1億71百万円減少したことによるものです。

固定負債は13億93百万円となり、前連結会計年度末に比べて10百万円減少しました。その主な要因としては、長期借入金12百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は155億13百万円で前連結会計年度末に比べて2億7百万円の減少となりました。その主な要因としては、為替換算調整勘定が1億7百万円、利益剰余金が95百万円減少したことによるものです。なお、自己資本比率は68.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車産業をはじめとした主要ユーザの設備投資が抑制されていることで当社グループの主力分野である工作機械事業の受注環境が当初想定よりも低迷していることから、前回予想を下回る見通しです。また、売上高の減少により、利益面についても、前回予想を下回る見通しです。

配当予想につきましては、業績見通しの修正を行ったことを踏まえ、中間配当及び期末配当を修正しました。

詳細につきましては、本日(2020年8月5日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,592	5,305
受取手形及び売掛金	3,128	2,933
電子記録債権	4,541	4,008
商品及び製品	1,271	1,238
仕掛品	1,931	1,666
原材料及び貯蔵品	1,058	1,062
その他	177	103
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	17,693	16,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,372	1,356
土地	2,461	2,461
その他（純額）	836	792
有形固定資産合計	4,671	4,610
無形固定資産	24	23
投資その他の資産		
その他	1,897	1,781
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,863	1,747
固定資産合計	6,559	6,380
資産合計	24,252	22,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,619	987
電子記録債務	3,431	3,041
短期借入金	760	735
未払法人税等	335	82
賞与引当金	224	53
役員賞与引当金	45	—
製品保証引当金	55	47
その他	654	837
流動負債合計	7,127	5,786
固定負債		
長期借入金	386	374
退職給付に係る負債	701	711
長期未払金	258	258
その他	57	49
固定負債合計	1,404	1,393
負債合計	8,531	7,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,789	1,789
利益剰余金	11,987	11,892
自己株式	△105	△105
株主資本合計	15,506	15,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	78
為替換算調整勘定	222	114
退職給付に係る調整累計額	△116	△103
その他の包括利益累計額合計	189	89
新株予約権	21	8
非支配株主持分	4	4
純資産合計	15,721	15,513
負債純資産合計	24,252	22,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,156	4,109
売上原価	3,873	3,110
売上総利益	1,283	999
販売費及び一般管理費	905	795
営業利益	378	203
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	32	5
その他	9	9
営業外収益合計	49	23
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	7	20
その他	0	0
営業外費用合計	8	21
経常利益	419	205
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	419	216
法人税、住民税及び事業税	174	53
法人税等調整額	△34	93
法人税等合計	139	147
四半期純利益	279	68
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	281	68

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	279	68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△4
為替換算調整勘定	25	△91
退職給付に係る調整額	3	12
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△16
その他の包括利益合計	31	△100
四半期包括利益	311	△31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312	△31
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。